

第13回 北九州市安全・安心推進会議 会議要旨

1 開催日時

令和7年11月7日(金) 14:00～15:30

2 開催場所

北九州市役所 3階 大集会室

3 出席委員数

27名

4 議題

北九州市安全・安心条例 第2次行動計画の進捗状況及び最終総括について

5 主な意見

自転車の交通安全対策について

- ・自転車利用者のヘルメット着用率が依然として低く、自転車の並走など危険な運転も見受けられるため、さらなる交通ルールの周知・啓発が必要。
- ・外国人を含む自転車利用者による高速走行や交通マナーに不安を感じるとの意見があり、安全教育の充実が必要。
- ・令和8年度から自転車の交通違反に対する反則金制度(青切符)が導入されることから、制度の周知とルール遵守の徹底が重要。

電動キックボードの安全対策について

- ・電動キックボードは車両から見えにくく、交通事故の危険性があるため、安全利用に関する啓発を強化すべき。
- ・飲酒後の利用や夜間利用への懸念も示され、市と事業者が連携した安全対策を進める必要がある。

地域防犯活動の充実について

- ・児童・生徒の安全確保のため、登校時だけでなく、部活動終了後の下校時間帯に合わせた見守り活動や夜間パトロールが重要。
- ・地域防犯活動の担い手が高齢化していることから、「ながら見守り」や犬の散歩を活用した見守り活動など、新たな防犯活動の仕組みづくりを進めるべき。

犯罪防止対策について

- ・市内の刑法犯認知件数は大幅に減少しているものの、自転車盗や万引きが依然として多いため、さらなる対策が必要。
- ・万引きや自転車盗の抑止には、商業施設や企業との連携が重要であり、防犯意識の向上や環境整備を進めるべき。
- ・データ分析に基づき、増加傾向にある犯罪や地域特性を踏まえた効果的な対策を実施することが重要。

再犯防止・立ち直り支援について

- ・犯罪や非行をした人の再犯防止には、就労や住居の確保など社会復帰に向けた支援が重要。
- ・保護司をはじめとする更生保護ボランティアの担い手不足が課題となっており、人材確保や活動しやすい環境整備が必要。
- ・再犯防止計画に基づく具体的な支援施策を引き続き推進していくことが重要。

北九州市の安全・安心の取組について

- ・暴力団対策や地域防犯活動の積み重ねにより、市の治安は大きく改善し、市外からのイメージも向上しているとの評価。
- ・安全・安心の取組は、防犯だけでなく、にぎわい創出やまちの魅力向上と両立して進めることが重要。
- ・市民、地域、事業者、警察、行政が引き続き連携し、「日本トップクラスの安全なまち」の実現を目指していくべき。